

管理課長(13:30)

- ＞ それでは、これより令和元年度第2回広尾町総合教育会議を開催します。
- ＞ はじめに、町長からご挨拶をいただきます。

町長

- ＞ ご苦労様です。風邪やインフルエンザが流行っているようでありまして、学校関係はまだ閉鎖になっていないということで安心はしているんですけど、しっかり対策を講じていただければと思っております。また日頃より教育委員の皆さんには本町の教育行政にご尽力をいただいていることに心から感謝を申し上げます。今日の総合教育会議につきまして、教育委員会での懸案事項についての協議でありますので、よろしくお願いを申し上げます。

管理課長

- ＞ それでは、これ以降、総合教育会議運営指針第4条に基づき、町長の議事進行となっております。よろしくお願いします。

町長

- ＞ はい。わかりました。これまでもそうでありますけれど、会議の進行については教育長をお願いをしたいと思いますけど、よろしいでしょうか。（各委員「はい」） それでは、教育長のほうで進行をよろしくお願いします。

教育長

- ＞ それでは、さっそく議事のほうに入らせていただきます。3番目の協議・調整事項(1)広尾町教育委員会の懸案事項について、事務局から説明をお願いします。

管理課長

- ＞ それでは、教育委員会の懸案事項について、各担当より説明をさせていただきます。まず一つ目の広尾高等学校の存続についてであります。平成31年度広尾高校新1年生は41名となり2学級、2間口を確保した訳であります。今後更なる学童児童生徒の減少が予測されます。今後1学級編成となった場合の検討をしていく必要があります。
- ＞ 続きまして、2番目、中学生海外派遣の縮小充実についてであります。平成29年度より負担金を5万円に減額し、家庭の負担軽減を図っております。また、生徒数の減少から派遣人数を12名から8名にしたことで、質の高い海外研修派遣が実施できているものがあります。こちらのほうの現状なんですけれど、事業の見直しを行うということで社会教育担当と打合せを行い振興会の役員のご意見もいただこうと考えております。中学生にとっての語学力の向上に9日間が効果的か、派遣先がアメリカでいいのか、ホストファミリー等の受け入れ先のことがどうなっているのか、あと旅行経費がこの10年で倍、1人当たり60万円かかるというところでもあります。高校生の海外派遣や姉妹市町の西海市への訪問、そういった部分についても併せて検討していく形が必要かと思えます。ちなみに、

高校生海外派遣の経費は一人当たり約20万円となっております。

＞ 続きまして、3番目、豊似小学校改築耐震対策でございます。今年度をもちまして終了ということで耐震化100パーセントを達成しております。

＞ 4番目の教員住宅・閉校施設の解体でございます。閉校施設、豊似中学校、野塚小学校、野塚中学校、音調津小・中学校、旧学校給食センター、野塚プール、教員住宅等がございます。計画的に解体撤去をすすめる必要があると思われます。

＞ 続きまして、5番目、将来における幼保一元化、認定こども園ということで、平成31年4月から認定こども園が開設しております。

＞ 6番目のスクールバスの運行についてでございます。こちらのほうは中学校便の増便、紋別線と東豊似線をそれぞれ走らせて現在6路線の運行を行っております。音調津線の高校生の乗車や中学生の部活、大会等の運行が複雑となり運行管理業務がかなり膨大になっております。委託については、管理業務を任せることができないためメリットが少なく、その後、提案や連絡はありません。課題としては、運転手の確保、高齢化が言われております。あと、児童生徒数の変動による路線の見直し、高額な車両管理費でございます。こちらのほう、新聞報道もありましたけれど、教育長の議会の答弁もありまして、さらに踏み込んだ形で中学校便の紋別・東豊似・野塚線に広尾高校生を乗車させるということで12月の議会でも行政報告をさせていただく予定であります。

＞ 続きまして、学校運営協議会、コミュニティ・スクール制度の創設でございます。こちらのほうなんです、平成31年1月より各小中学校に学校運営協議会を設置して、コミュニティ・スクールがスタートしております。各運営協議会で話し合われた内容を校長が汲み取りまして重点教育目標を定め、その目標達成のために教育課程に、授業の中に組み入れてそういう部分をしっかり行っております。地域学校協働本部は広尾っ子応援団として設置しております。3月には教育長の提案により役場全職員に向けたコミュニティ・スクール研修会を行っております。今年度も引き続き、寺田弘文氏を地域おこし協力隊、コミュニティ・スクールコーディネーターとして雇用しております。加えて文部科学省のコミュニティ・スクール推進体制構築事業の補助金を活用し講演会等を行っております。

＞ 続きまして、8番目、ひろお幼稚園の閉園記念事業についてであります。こちらのほう、31年2月17日に実施済みであります。管理課関係分は以上であります。

社会教育課長

＞ 続きまして、9番目です。学校運営協議会の創設の関係です。社会教育に関する部分については、地域学校協働本部、広尾っ子応援団ですのすでに発足しておりますので、すでに解決でもいいのですが、現状46名の方が登録していただいております、今年度につきましても団員の登録者数について増やしていきたい、そういった内容については広尾っ子応援団だよりを通して普及に努めたいと考えております。

＞ 次に10番目です。旧広尾小学校の利活用です。社会教育サークルのうち、特に陶芸サークルについてですが、今現在、移設先が見つげづらいような状況です。の一まひろおさんが移動した場合に林業振興センターが使えないか検討していかなければならないと考えています。

- ＞ 次に１１番目、生涯学習センターの建設であります。まちづくり計画の第６次計画には掲載しない方針でありますので、そのように進めたいと思います。
- ＞ 次に１２番目、野外活動施設の改修についてです。廃止も視野に入れておりまして、すでに議会にも施設の現状について説明しております。十勝管内の民間企業等にも現状等も一度見ていただいておりますし、１年程度かけて結論を出していきたいと思っております。
- ＞ 次のページに移りまして、１３番です。町民プールの改修です。現在、遊泳槽の塗装の膜がはがれてきておりまして、児童がけがをするような事態になり応急措置をしております。すべての塗装に１，７００万円かかるということです。それから、ボイラーについても改修が必要な時期がまいりまして、合わせて３，０００万円近い数字になりますので大規模改修に係る補助事業等の有無の確認に動いているところです。
- ＞ 次に１４番目、丸山野球場の改修についてです。雨水のはけが悪いなどの状況があります。山全体が丸山都市公園内の位置づけとなっているため、都市公園の整備の中で整備できないか検討してみたいと思っています。都市公園としての補助対象事業費は３，０００万円以上となっており大規模に回収するとしたら該当になるとは考えられますが、いくら補助が当たるとはいえ、事業の実施に向けはどうかということとは検討していきたいと考えております。
- ＞ 次に１５番目、町営スキー場の改修についてです。今現在、問題となっているのはリフトが壊れた場合、その改修に多額の費用がかかるため、そこまでの費用をかけて回収する必要があるのか、場合によってはスキー場の廃止も視野に入れて検討したいと思っております。
- ＞ 次に１６番目、勤労者体育センター屋根の改修です。こちらについては、現在小規模の修繕で対応しておりますけど、海に近いものですから屋根に錆と複数箇所雨漏りが発生しております。全体の屋根の葺き替え費用につきましては、２、３年前の見積りになりますけど、その当時で３，５００万円の見積りとなっておりますので、どうしても使い物にならない場合には、将来的には人口減少等もありますので、社会教育施設の方向性なりを今後考えていかなければならないと思います。社会教育係に係る分については以上でございます。

図書館長

- ＞ 引き続きまして、図書館と児童会館の分について説明させていただきます。
- ＞ １７番につきまして、図書館電算化システム導入につきましては、電算化システムの導入により、利用者への対応が迅速になりサービスの向上が図られる点も重視いたしまして検討をしていただきたいと思います。陸別町と広尾町のみが十勝管内で電算化が未導入となっております。データの登録費用が６００万円、システム機器の導入に３，０００万円程度かかることから、費用補填の一つとして、ふるさと納税を利用すること検討しております。
- ＞ １８番の移動図書館バスの更新につきましては、小学校２校と一般向けステーション９カ所を巡回しています。平成５年度から運用したバスですが２５年が経過し、車両の不具合及び故障時の修理用部品の入手の懸念が業者のほうから指摘されております。令和２年

度の更新を検討し、現在コミュニティ助成事業の助成金を申請しております、それにつきましては、3月末くらいにしか結果がわかりません。費用補填の一つとしてふるさと納税を利用することも検討しております。

＞ 19番、専門職、有資格者の長期雇用についてです。臨時職員の有資格者を現在雇用しておりますが、専門性及び図書館事業のノウハウ等の維持が図れる点も重視し、常勤の有資格者の臨時職員の継続雇用が望まれます。

＞ 20番、平日の臨時職員の雇用についてです。現在、土日に臨時職員に勤務いただいているが、平日にも勤務いただくことにより職員の時間外勤務の解消が図られると考えられる。これについては、300日程度の雇用が必要と積算しており、今後検討を進めていきます。

＞ 21番、児童福祉会館の駐車場整地につきましては、建物の海側から裏側にかけて未舗装のため雨天時の駐車及び歩行に支障が出ている状態であります。平成31年度には一部砂利をいれておりまして、舗装はされていませんが穴の深いところは一部補修をしている状況であります。

＞ 22番、大ホール舞台の幕の更新についてです。舞台上の袖幕等について、長年の汚れと部分的に摩耗が激しい状態であります。クリーニングによる破損が予想されるため更新が必要な状況です。

＞ 23番、児童福祉会館の放送機器の更新について、放送機器については、部品の製造中止も含め更新を検討する必要があるということで、特に前面のスピーカー及び天井スピーカーについては、今後、2、3年のうちに更新する必要があると考えます。

＞ 24番、児童福祉会館のベランダ改修につきましては、平成30年度にベランダの一部防水改修を実施しています。それ以外の部分につきましても、部分的に補修が必要な箇所があります。

＞ 25番、児童福祉会館の網戸設置についてです。網戸がついていない、調理室、和室、会議室につきましては、夏場について窓の開閉ができず暑さ対策ができない状況であります。令和2年度に予算を計上して対策を図る予定であります。

＞ 26番、有資格司書、正職員の配置について、平成30年度末にて、図書館職員が退職するにあたり、正職員の有資格者を希望するというものであります。平成31年度につきましては、再任用職員の配置がありました。令和2年4月からは司書の正職員が配置される予定となっております。以上です。

教育長

＞ ただいま、26件について懸案事項の説明をしてもらいました。ここからは、一つずつ疑問点等の質問を受けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

＞ 1番目の広尾高等学校の存続の関係であります。今後、生徒数の減少もありますので幅広く、日高管内、道東にもアピールをしていきたいと考えております。委員の皆さまから何かありましたら発言をお願いします。

武藤委員

＞ 町外から広尾高校への進学が多かった場合、下宿の空きとかは大丈夫ですか。

教育長

＞ 来年度については、大丈夫だと思われますが、再来年度については心配なところがあります。

＞ 他にも東京２３区にもポスターとチラシを配付させてもらっていますので、下宿もあるということも強調させてもらいながら、広い北海道で３年間過ごしませんかというような、お話をさせていただきながら希望者を募っているような状況です。

町長

＞ 反応無いですか。

教育長

＞ 無いですね。誰か職員を行かせたいと思っているんですが。

町長

＞ タイミングはもう終わりですか。

教育長

＞ ほぼ、固まりつつあるのかなと思います。

町長

＞ 説明の場所とか用意してくれば、職員を派遣してＰＲ活動したほうがいいのではないかな。

教育長

＞ 広尾高校の存続については、よろしいでしょうか。（各委員「はい」）

＞ 次に２番目の、中学生海外派遣の縮小充実についてということで、先ほど課長から話をしましたけど、これについても事業の見直しをしている最中でありまして、本当にアメリカがいいのか、英語圏ならどこでもいいのかなと思っていまして、治安の問題もあります。世界の中で治安のいいのは日本であります、その次がシンガポールとのことです。シンガポールだと民間の会社にこういった事業を受け入れるための施設を持っているそうなんです。授業重視の受け入れの活動をしていて、当然ホームステイもさせるということで、経費的には１人当たり３０万円くらいの見積りがあがってきておりますけれど、この事業についても南十勝広域で取り組もうと思ったんですけども、それぞれの町の考えもあって話がまとまらなかったのが広域の話はまだ先に、今後の検討事項かなと思っております。

町長

＞ 中学校は8人の枠で申し込みは何人だったの。

教育長

＞ 今年は17名の申込みがありました。

町長

＞ 中学生は積極的なの。

武藤委員

＞ 高校は相互だからじゃないですか。

町長

＞ 受け入れが負担になっているのかな。

武藤委員

＞ 派遣先を変えたとしたら、いつくらいからになりますか。

教育長

＞ 今だと、1年位前から準備が必要になりますし、今後、振興会との協議もしなければならぬので、令和2年度からは難しいと思われます。

＞ それでは次に行きます。

＞ 豊似小学校改築工事については、皆さん見学されていますのでよろしいかと思います。外構工事もすべて完了をしています。

＞ 次に4番目の、教員住宅・閉校施設の解体について、これについては年次的に予算との兼ね合いもあるので。

町長

＞ どんどん壊していった。

教育長

＞ いいですか。

＞ そういことですので、よろしくお願いします。

＞ 次に将来における幼保一元化、これにつきましては、今年度から認定こども園として開設しています。

＞ スクールバスの運行についてであります。課長が言ったとおりでありまして、来年度から高校生にも利用していただくという予定をしています。スクールバスを利用する方、従来通り十勝バスを利用する方、選択制にしたいと考えております。どうしても豊似市街、野塚市街の生徒については十勝バスのほうが利用しやすいのかなとの考えも持っております。

すので、希望をとって選択制にしたいと思っております。このことによって事業費は70、80万円減額になる見込みであります。

＞ 7番目であります。コミュニティ・スクールの関係、これについても今年1月から学校運営協議会を3校に設置いたしました。順調に行っていると思います。講演会等も開催しながら広く周知していきたいとも思いますし、協力もいただきたいと考えております。寺田先生がいるうちに何とか軌道に乗せて進めたいと思っています。この件についてはよろしいでしょうか。（各委員「はい」）

＞ 次に、ひろお幼稚園閉園事業についてですが、こちらはもう終了しております。

＞ 次に、旧広尾小学校の利活用について、要はこれは陶芸サークルのことですね。陶芸サークルをどこに移転させていくかというのが懸案になっておりまして、あと一部教室は防災保管庫であったり、役場の書類の書庫であったりで利用しています。これは従来どおり利用していきたいと思っておりますけれど、陶芸サークルの移転については原課で十分協議をしていただきたいと思っています。

町長

＞ 草刈りは巡回公務補がやっているの。

管理課長補佐

＞ こちらの草刈りは管財のほうでやっております。

町長

＞ 管財でやってるの、普通財産になったから。

管理課長補佐

＞ そうですね。

町長

＞ 総務課長、草が伸びすぎて見栄えが悪いから。巡回公務補が空いていれば手伝ってもらうとか、連携してやってください。

総務課長

＞ はい。確認してみます。

武藤委員

＞ シルバーとか活用できないんですか。

町長

＞ いいですよ。

教育長

＞ 目立つところなので、環境整備を来年度はしたいと思います。

町長

＞ 廃校のまわりはきれいにしておかないとね、よろしくお願いします。

教育長

＞ 次、１１番の生涯学習センターの建設については、これはこのとおり、今後計画には載せないという方針ですすめてよろしいですね。

町長

＞ はい。

教育長

＞ １２番の野外活動施設の改修について、これは教育委員の皆様にも現場を見ていただきました。総務常任委員会でも現状を見ていただいております。認識は十分持っていただいておりますから、議会にも総務常任委員会にも廃止も視野に入れてということでしたけれども、交流人口、今まで見込んでいた交流人口をどうするんだということを言われました。今後どういう方向性にもっていけるのか検討したいと思っております。

＞ 次に町民プールの改修ということで、多額の費用がかかるんですけど、当面補修をしながらということであります。

＞ それから、丸山球場から町営スキー場については、先ほど説明のとおり、改修費用が膨大にかかるということで、これも経過観察をしていきたいと考えております。

＞ それから、勤労者体育センターの改修です。屋根の葺き替えに多額の経費がかかるということですが、この体育館については稼働率が高いので残しておきたいですし、早いうちに改修はすべきかと考えております。

社会教育課長

＞ 体育館の利用者は、年間４千人弱の利用があります。１日平均にすると１０人程度の利用があります。どうしてもこの施設を利用しないと回せない状況にあるんですけど、人口が減って子どもたちも減ることになってくれば、他の体育館、学校開放事業をやっている部分もありますので、その施設でうまく回していけるようになればと思います。やはり海が近いのであの周辺の施設については、傷みが早いという思いがありますので、その辺も考えながら経過を観察していきたいと思っております。

教育長

＞ 次に図書館の関係で、１７番、１８番、１９番ですね。電算システムの導入、図書館バスの更新、専門職の雇用についてですが、専門職については次年度に司書１名採用予定ですので、この件は解決すると思っております。システムの導入、バスの更新については、コミュ

ニティ助成の可能性はあるの。

図書館長

＞ 他の町村でコミュニティ助成を使いバスを購入しているところはあるんですけど、助成の上限は1,000万円となっているが、バスの価格はそれを上回るため1,000万円を超えた部分について考えなくてはならない。

社会教育課長

＞ 補足します。コミュニティ助成での図書館バスの購入については、全国で相当程度実績があります。なので、認められる公算は高いのではないかと考えております。それと、今現在、ふるさと納税のメニューの一番上に教育に関するものと記載がありまして、この12月からなんですけれども昨日時点においてもかなりの伸びを見せております。担当のふるさと納税係からは必要な額を満たせるのではないかと感触を得ておりますので、コミュニティ助成が決まりましたら6月の議会に補正予算を計上する目途がたってきたなと考えています。

教育長

＞ システムの電算化についてはどうですか。

社会教育課長

＞ それについてなんですけれど、まちづくり計画の中でもですね、生涯学習センターについて第6次計画に記載されないのであれば、個人的には第7次計画に載せるのも難しいのではないかと思います。そうなってくると、今ある児童福祉会館の子育て機能の関係、システムの部分であるとか、舞台の照明の関係、一度手を入れても10年以上使い続けることになると思うので、投資対象としてはいいのかなと、また生涯学習センター建設のための基金積立がありますけど、その財源を用いて改修するということも視野に入れながら考えられたらと思います。

教育長

＞ この部分については、町部局と協議をさせていただきたいと考えております。
＞ 次、20番からの児童福祉会館の関係であります。これは耐震改修をした際に幕だとかそういったものは更新してないの。建物だけなの。放送設備も改修してないの。

図書館長

＞ 点検だけはしてますけど、大々的な改修はしていません。

教育長

＞ この辺についても、経過観察をしながら、どうしても更新しなければならないものについては更新していきたい。ホールの機能を持っているのはあそこだけですから、何か行事

をするという時にはあその施設を使いますので、必要最低限のものは備えておきたいと考えております。

＞ 以上で懸案事項については終わらせていただきたいと思います。全体を通して何かありますか。（各委員「なし」）

＞ それでは、（２）その他でありますけど事務局からありますか。

管理課長

＞ 議案の表紙の裏をご覧ください。現在の広尾町教育大綱が令和２年度までという形になっております。北海道のほうも同じように令和２年度に北海道教育大綱を策定する予定となっております。広尾町教育大綱につきましては、令和３年度に向け令和２年度中の策定に向け協力いただきたいと思いますと考えております。

教育長

＞ この件については、教育委員会会議等で皆様と検討しながら、皆様とご相談しながら大綱を決めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

＞ その他なにかありますか。（各委員「ありません」）

＞ 町長からありませんか。

町長

＞ ありません。

教育長

＞ それでは以上をもって、令和元年度第２回広尾町総合教育会議を終了させていただきます。お疲れ様でした。

この議事録は、令和元年１２月４日に開催の広尾町総合教育会議の確定に基づいて作成した。（当日の議案は別紙のとおり）

広尾町長 村 瀬 優

教 育 長 菅 原 康 博

（令和元年１２月１６日調製）

広尾町教育委員会管理課